

記入例

配偶者の子を
養子とする場合

届書は鉛筆や消えるボールペンで記入しないでください。

養子縁組届

△△年 8 月 10 日届出

新潟市 ○○区 長 あて

新潟市の受付窓口

平日 (8:30~17:30)
区役所、出張所

夜間、休日 区役所(時間外窓口)

養子になる方が
「男性」の場合、こちら側にご記入ください。

養子になる方が
「女性」の場合、こちら側にご記入ください。

【届出印】
押印は任意です。

字訂正
字加入
字削除

届出
印

| | | | | |
|-----------------------------|--|-------|----------------------|---------|
| (よみかた) | 養 子 に な る 人 | | | |
| 氏 名 | 養子 氏 名 | 名 | 養女 氏 名 | 名 |
| 生 年 月 日 | 年 月 日 | | 令和 平成 昭和 2 年 3 月 3 日 | |
| 住 所 | 新潟市中央区学校町通 1 番町 6 0 2 番地 1 号 | | | |
| (住民登録をしているところ) | 世帯主の氏名 山田 太郎 | | | |
| 本 籍 | 新潟市南区月潟 5 3 5 番地 番 | | | |
| (外国人のときは国籍だけを書いてください) | 筆頭者の氏名 乙川 花子 | | | |
| 父 母 の 氏 名 | 父 | 続 き 柄 | 父 | 乙 川 英 男 |
| 父 母 と の 続 き 柄 | 母 | 男 | 母 | 山 田 花 子 |
| 入 籍 す る 戸 籍 ま た は 新 し い 本 籍 | <input checked="" type="checkbox"/> 養親の現在の戸籍に入る <input type="checkbox"/> 養親の新しい戸籍に入る <input type="checkbox"/> 養子夫婦で新しい戸籍をつくる <input type="checkbox"/> 養子の戸籍に変動がない 新潟市中央区学校町通 一番町 6 0 2 番地 1 番 筆頭者の氏名 山田 太郎 | | | |
| 監 護 を す べ き 者 の 有 無 | (養子になる人が十五歳未満のときに書いてください) <input type="checkbox"/> 届出人以外に養子になる人の監護をすべき <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 養父 <input type="checkbox"/> 養母がいる <input checked="" type="checkbox"/> 上記の者はいない | | | |
| 届 出 人 印 | 養子が15歳以上のときは養子本人が届出人となりますので、署名が必要です。押印は任意です。 | | | |

(養子になる人が十五歳未満のときに書いてください。届出人は未成年後見人が外国人のときは、ここに書くことができない。未成年後見人がいない。その場合は親権(養親)を行使する。届出人は届出人の署名が必要で、書いてください。)

| | | |
|-------------|--|---|
| 資 格 | 親権者 (□父 □養父) □未成年後見人 □特別代理人 | 親権者 (✓母 □養母) □未成年後見人 |
| 住 所 | 養子が15歳未満のときは養子の法定代理人が届出人となります。実親が離婚している場合、届出人は「親権者(1人のみ)」です。 新潟市中央区学校町通 1 番町 6 0 2 番地 1 号 | 新潟市中央区学校町通 一番町 6 0 2 番地 1 番 筆頭者の氏名 山田太郎 |
| 本 籍 | 番地 番 筆頭者の氏名 | 番地 番 筆頭者の氏名 山田太郎 |
| 署 押 生 年 月 日 | 印 | 印 |
| | 年 月 日 | 昭和 5 6 年 6 月 6 日 |

押印は任意です。

記入の注意

黒のボールペンまたは黒インキで書いてください。
新潟市内の区役所に届け出る場合、届書は1通でけっこうです。(その他のところに届け出る場合は、直接、提出先にお確かめください。)
この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本が必要ですから、あらかじめ用意してください。
養子になる人が未成年で養親になる人が夫婦のときは、一緒に縁組をしなければなりません。
養子になる人が未成年のときは、あらかじめ家庭裁判所の許可の審判を受けてください。
養子になる人が十五歳未満のときは、その法定代理人が署名押印してください。また、その法定代理人以外に監護をすべき者として父又は母(養父母を含む。)が定められているときは、その者の同意が必要です。
筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

| | | | | |
|-----------------------|---|----|--------|---|
| (よみかた) | 養 親 に な る 人 | | | |
| 氏 名 | 養父 氏 名 | 名 | 養母 氏 名 | 名 |
| 生 年 月 日 | 昭和 5 7 年 1 月 1 日 | | 年 月 日 | |
| 住 所 | 新潟市中央区学校町通 1 番町 6 0 2 番地 1 号 | | | |
| (住民登録をしているところ) | 世帯主の氏名 山田 太郎 | | | |
| 本 籍 | 新潟市中央区学校町通 一番町 6 0 2 番地 1 番 | | | |
| (外国人のときは国籍だけを書いてください) | 筆頭者の氏名 山田 太郎 | | | |
| そ の 他 | 養親、養子とも配偶者のいる人が単独で養子縁組するときは、配偶者の同意が必要です。 本記入例のように配偶者が届出人となっている場合を除き、「同意書」または「その他」欄に同意する旨を記入し、署名してください。 | | | |
| 新 し い 本 籍 | (養親になる人が戸籍の筆頭者およびその配偶者でないときは、ここに新しい本籍を書いてください) | | | |
| 届 出 人 印 | 養父 山田 太郎 印 | 養母 | 印 | |

【届出印】
押印は任意です。

字訂正
字加入
字削除

届出
印

| | | | | |
|-------------|--------------------------|-----------------------|--|--|
| 証 人 | 証 人 | | | |
| 署 押 生 年 月 日 | 山田 誠一郎 印 | 山田 洋子 印 | | |
| | 昭和 1 6 年 1 2 月 1 2 日 | 昭和 5 9 年 9 月 9 日 | | |
| 住 所 | 新潟市中央区西堀通 六番町 8 6 6 番地 番 | 新潟市北区松浜 1 丁目 7 番地 9 号 | | |
| 籍 | 新潟市中央区西堀通 六番町 8 6 6 番地 番 | 新潟市北区松浜 一丁目 7 番地 9 号 | | |

押印は任意です。

証人として、署名、その他全ての記載が必要です。
押印は任意です。
証人は、養子縁組の事実を知っている人で成人の方であれば、どなたでもかまいません。
(当事者以外の者であれば、ご家族、知人でも可)

記入例

成人の方を
養子とする場合

届書は鉛筆や消えるボールペンで記入しないでください。

養子縁組届

△△年 8 月10 日届出

新潟市 ○○区 長 あて

新潟市の受付窓口

平日 (8:30~17:30)
区役所, 出張所
夜間, 休日 区役所 (時間外窓口)

養子になる方が
「男性」の場合、こちら側にご記入ください。

養子になる方が
「女性」の場合、こちら側にご記入ください。

【届出印】
押印は任意です。

字訂正
字加入
字削除

届出
印

| | | | | |
|-----------------------------|---|------------------|---|-------|
| (よみかた) | 養 子 に な る 人 | | | |
| 氏 名 | いしやま 隆志 養子 氏 名 | たかし 隆志 養女 氏 名 | | |
| 生 年 月 日 | 平成 8 年 10 月 10 日 | | | |
| 住 所 | 新潟市中央区学校町通 1 番町 6 0 2 番地 1 号 | | | |
| (住民登録をしているところ) | 世帯主の氏名 山田 一郎 | | | |
| 本 籍 | 新潟市東区古川町四 番地 番 | | | |
| (外国人のときは国籍だけを書いてください) | 筆頭者の氏名 石山 義夫 | | | |
| 父 母 の 氏 名 | 父 石山 義夫 | 続 き 柄 | 父 | 続 き 柄 |
| 父 母 と の 続 き 柄 | 母 石山 恵子 | 二 男 | 母 | 女 |
| 入 籍 す る 戸 籍 ま た は 新 し い 本 籍 | <input checked="" type="checkbox"/> 養親の現在の戸籍に入る <input type="checkbox"/> 養親の新しい戸籍に入る <input type="checkbox"/> 養子夫婦で新しい戸籍をつくる <input type="checkbox"/> 養子の戸籍に変動がない 新潟市中央区学校町通 1 番町 6 0 2 番地 1 番 筆頭者の氏名 山田 一郎 | | | |
| 監 護 を す べ き 者 の 有 無 | (養子になる人が十五歳未満のときに書いてください) <input type="checkbox"/> 届出人以外に養子になる人の監護をすべき <input type="checkbox"/> 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/> 養父 <input type="checkbox"/> 養母がいる <input type="checkbox"/> 上記の者はいない | | | |
| 届 出 人 署 名 押 印 | 石山 隆志 印 | | | |

| | | | |
|---|-----------------------------------|---------------------|--|
| 届 出 人 (養子になる人が十五歳未満のときに書いてください。届出人が未成年後見人であるときは、ここに書くことができない。未成年後見人については、その監護又は別添(成年後見人、届出人、その監護又は別添)に書くこと。) | | | |
| 資 格 | 親権者 (口父 口養父) 口未成年後見人 口特別代理人 | 親権者 (口母 口養母)口未成年後見人 | |
| 住 所 | 番地 番 号 | 番地 番 号 | |
| 本 籍 | 番地 番 筆頭者の氏名 | 番地 番 筆頭者の氏名 | |
| 署 押 生 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |

記入の注意

黒のボールペンまたは黒インキで書いてください。
新潟市内の区役所に届け出る場合、届書は1通でけっこうです。(その他のところに届け出る場合は、直接、提出先にお確かめください。)
この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本が必要ですから、あらかじめ用意してください。
養子になる人が未成年で養親になる人が夫婦のときは、一緒に縁組をしなければなりません。
養子になる人が未成年のときは、あらかじめ家庭裁判所の許可の審判を受けてください。
養子になる人が十五歳未満のときは、その法定代理人が署名押印してください。また、その法定代理人以外に監護をすべき者として父又は母(養父母を含む。)が定められているときは、その者の同意が必要です。
筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

注意：成人同士の養子縁組で親族間同士でない場合
法務局へ受理照会が必要な場合があります。(即日受理不可)

| | | | | |
|--|--|--------------|-------------------|-------------|
| (よみかた) | 養 親 に な る 人 | | | |
| 氏 名 | やまだ 山田 養父 氏 名 | いちろう 一郎 名 | いしやま 山田 養母 氏 名 | はなよ 花代 名 |
| 生 年 月 日 | 昭和 30 年 12 月 12 日 | | 昭和 32 年 5 月 3 日 | |
| 住 所 | 新潟市中央区学校町通 1 番町 6 0 2 番地 1 号 | | | |
| (住民登録をしているところ) | 世帯主の氏名 山田 一郎 | | | |
| 本 籍 | 新潟市中央区学校町通一番町 6 0 2 番地 1 番 | | | |
| (外国人のときは国籍だけを書いてください) | 筆頭者の氏名 山田 一郎 | | | |
| そ の 他 | 養親、養子とも配偶者のいる人が単独で養子縁組するときは、配偶者の同意が必要です。(※父母共同縁組する場合は不要です。) 「同意書」または「その他」欄に同意する旨を記入し、署名してください。押印は任意です。 【同意の記入例】 この縁組に同意する。 養父の配偶者 山田 花代 | | | |
| 新しい本籍 (養親になる人が戸籍の筆頭者およびその配偶者でないときは、ここに新しい本籍を書いてください) | | | | |
| 届 出 人 署 名 押 印 | 養父 山田 一郎 印 養母 山田 花代 印 | | | |

【届出印】
押印は任意です。

字訂正
字加入
字削除

届出
印

| | | |
|-------------|-------------------------------|----------------------------|
| 署 押 生 年 月 日 | 高橋 誠一郎 印 昭和 16 年 12 月 12 日 | 渡辺 洋子 印 昭和 59 年 9 月 9 日 |
| 住 所 | 新潟市中央区西堀通 6 番町 8 6 6 番地 番 号 | 新潟市北区松浜 1 丁目 7 番地 番 9 号 |
| 本 籍 | 新潟市中央区西堀通 6 番町 8 6 6 番地 番 号 | 新潟市北区松浜 1 丁目 7 番地 番 9 号 |

証 人
押印は任意です。

証人として、署名、その他全ての記載と押印(スタンプ印不可)が必要です。
証人は、養子縁組の事実を知っている人で成人の方であれば、どなたでもかまいません。
(当事者以外の者であれば、ご家族、知人でも可)